

SB シートベルト

| | | | |
|---|---|---------------------------------|---|
| 作業上の注意 | 2 | リヤシートベルト | 6 |
| ・SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト付き車に関する注意 | 2 | ・後席中央 2 点式シートベルト取り外し、取り付け | 6 |
| ・注意 | 2 | ・後席中央 3 点式シートベルト取り外し、取り付け | 6 |
| フロントシートベルト | 3 | ・点検 | 7 |
| ・取り外し、取り付け | 3 | | |
| ・点検 | 4 | | |

A

B

C

D

E

F

G

SB

I

J

K

L

作業上の注意

PFP:00001

SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト付き車に関する注意

JHS0001R

- 警告：**
- SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステム関連の構成部品脱着及びハーネス脱着は、キースイッチ OFF で、バッテリー端子を外してから 3 分以上放置後行うこと。(エアバッグセンサーユニット内の補助電源回路に蓄えられた電気を放電させるため。)
 - 構成部品の脱着に、エアツール及び電動ツール等は使用しないこと。
 - SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステム用のハーネスは、ハンダ等による修理は禁止である。また、ハーネスの噛み込み及び他部品との干渉に十分注意すること。
 - SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト回路及び単品状態での点検をするときはサーキットテスター等の電気テスターを使用しないこと。(テスターの微電流による作動防止)
 - エアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトのコネクタに、ドライバー等の異物の差し込みは禁止である。(静電気による作動防止)
 - SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトのハーネスには、識別として黄色のハーネスコネクタを使用し、他のハーネスとの区別をしている。
 - 安全に整備作業を行うために、「SRS SRS エアバッグ」を参照すること。

注意

JHS0001S

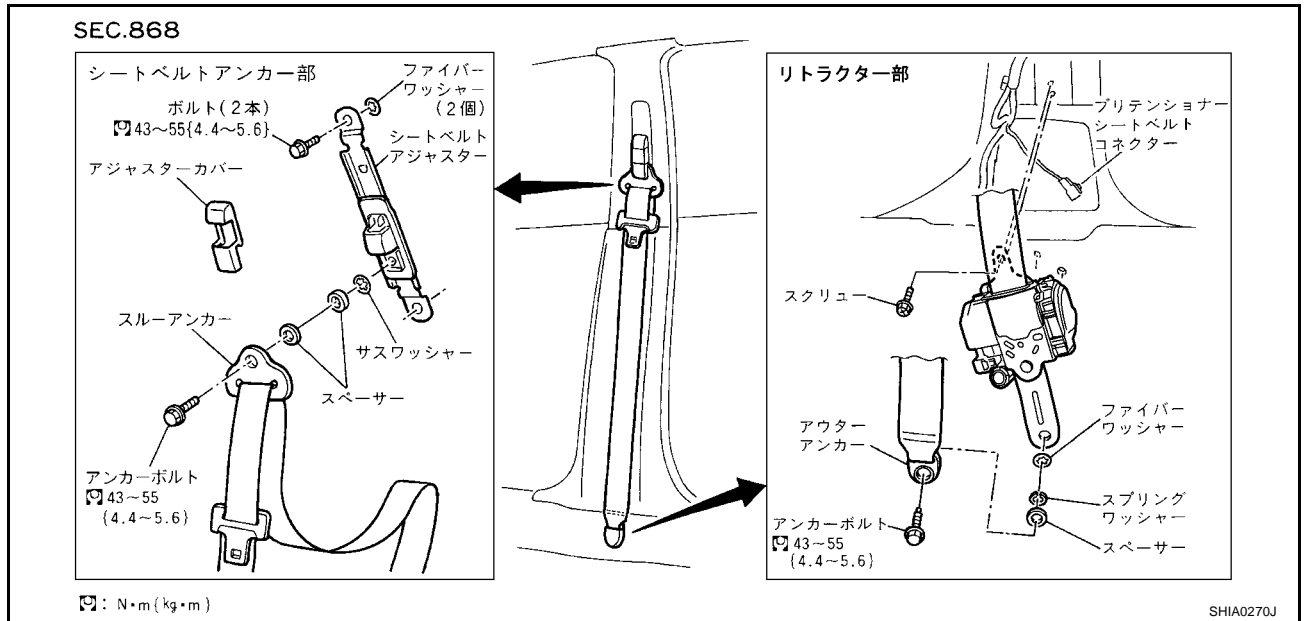
- プリテンショナーシートベルトを単品で置くときは、コネクタ部に短絡用コネクタを接続するか、マニホールドケース部の中間ハーネスコネクタを外すこと。(万一の作動に対する備え)
- 80 以上の高温になるところに置かないこと。
- プリテンショナーシートベルトコネクタは、シートベルト全てのアンカー部が締結状態で抜き差しすること。
- プリテンショナーシートベルト廃却要領は、「SRS SRS エアバッグ」[「廃却処理」\(SRS-32 ページ\)](#)を参照。
- プリテンショナーシートベルトを交換及び脱着、また、プリテンショナーシートベルトセンサーコネクタを再接続した後は、システム機能を SRS エアバッグ警告灯を使用して正常か点検すること。[「システム点検」\(SRS-7 ページ\)](#)を参照。
- プリテンショナーシートベルト作動後のバックル及びシートベルト ASSY は再使用しない。
- オイル、グリス、洗浄油、水等を付着させないこと。
- 落下等による衝撃を与えないこと。衝撃を与えた場合は交換となる。
- ウエビングが切れていたり、ほつれていたり、損傷しているものは、シートベルト ASSY で交換する。
- シートベルト ASSY を交換する場合は純正部品を使うこと。

フロントシートベルト

PF:87000

取り外し、取り付け

JHS000IT

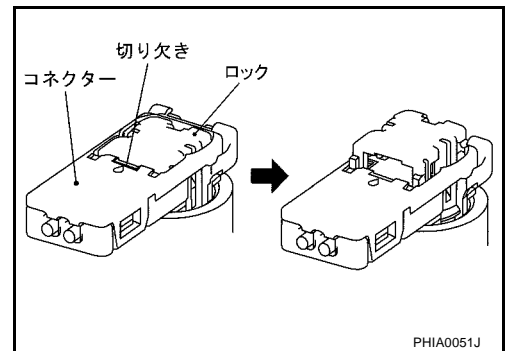


取り外し

1. アジャスターカバーを取り外す。
2. ショルダーアンカーボルトを取り外す。
3. センターピラーアッパー及びフロアガーニッシュを取り外す。「E1 外装・内装」の「[ボディーサイドトリム](#)」(E1-30 ページ)を参照。
4. プリテンショナーシートベルトコネクタを取り外す。

注意:

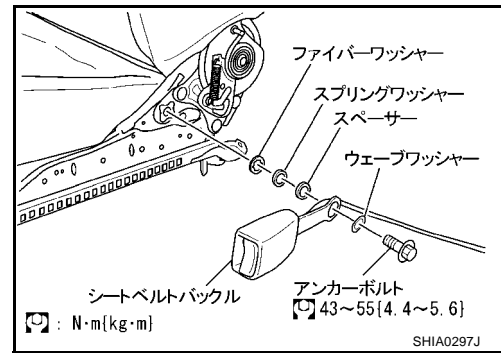
- プリテンショナーシートベルトコネクタの脱着は、テープを巻いたマイナスドライバーを切り欠き部に差し込み、ロックを引き上げてコネクタを取り外す。
- コネクタの取り付けは、ロックを引き上げた状態で取り付け、ロックを押し込む。



5. フロアアンカーカバーを上側にスライドさせる。
6. フロアアンカーボルトを取り外す。
7. プリテンショナーシートベルトリトラクターを取り付けているスクリューを取り外し、シートベルト ASSY を取り外す。

フロントシートベルト

8. フロントシートを取り外す。
9. スクリューを外し、シートクッションインナーフィニッシャーを取り外す。(マニュアルシートのみ)「[フロントシート](#)」(SE-9 ページ)を参照。
10. アンカーボルトを外し、シートベルトバックルを取り外す。



取り付け

取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

点検

JHS000IU

事故後の点検

衝突後は、リトラクターを含んだシートベルト ASSY を取り付ける全ての部位を点検する。また、シートベルトの取り付け部に損傷、ゆがみ等がないか点検する。衝突した場合、損傷がある場合や正常な作動をしない場合、日産は交換を勧めている。交換を怠った結果、事故の際に重大な人身の危害をもたらす可能性があるからである。

以下の場合にはシートベルトを交換する：

- シートベルトが損傷したとき。
- シートベルト取り付け部が損傷したとき。(新しいシートベルトを取り付ける前に、取り付け部の損傷、ゆがみなどを点検する。)
- 使用、未使用にかかわらず、エアバッグが展開した場合。
- シートベルトが正常に作動しないとき。

事前点検

1. 正常かどうかシートベルト警告灯で点検する。
 - シートベルト未装着状態でキースイッチ ON にするとシートベルト警告灯は点灯、装着すると消灯する。
2. シートベルトリトラクター及びバックルのアンカーボルトが確実に締め付けられているか確認する。
3. シートベルトショルダーアンカーの軸が自由に回転するか、また、シートベルトアジャスターが適切に作動および確実に噛み合うか確認する。
4. リトラクターの作動点検
 - a. ベルトを全て引き出して、ねじれ、切れ、その他の損傷がないか点検する。
5. リトラクターの作動点検
 - a. ベルトを全て引き出して、ねじれ、切れ、その他の損傷がないか点検する。
 - b. ベルトを巻き戻す。ベルトがスムーズかつ完全にリトラクターに戻るか確認する。ベルトがスムーズに戻らないときは、ほこりなどが原因の可能性もあるので、「SEAT BELT、TAPE SET」を用いて、以下の手順で作業を行う。

フロントシートベルトスルーアンカー部の点検

1. シートベルトを 50cm 以上引き出す。
2. センターピラーベルト出口のシートベルトをクリップなどで固定する。
3. スルーアンカーのベルトと通し穴に、細い針金を通し、針金両端を手で引っ張りながらベルト通し穴の表面に沿って数回、上下に移動させて粘着物を除去する。
4. 針金で取りきれなかった汚れは、きれいな布などでベルト通し穴を清掃する。
5. スルーアンカーベルト通し穴のベルトが接触する位置に TAPE を貼り付けること。

フロントシートベルト

参考：TAPE を貼り付けるときは、しわやたるみが無いように貼り付けること。

6. シートベルトの固定を取り外し、ベルトがスムーズに巻き戻るか確認する。
- c. シートベルトを装着する。バックルにしっかりシートベルトが止まっているか確認する。
- d. シートベルトを外す。ベルトを放し、ベルト及びタンクが元の位置に戻るか確認する。

シートベルトリトラクターの車載上点検

ELR 機構

- ELR 機構は、急ブレーキなどの緊急時にリトラクターをロックさせ、ベルトがそれ以上伸びることを防ぐ機構である。
- 点検には、静的点検と動的点検があり、リトラクターが正常に作動しているかは、以下の項目を行って判断する。

ELR 静的点検

ベルトを前方向にすばやく引くと、リトラクターがロックし、ベルトが引き出せなくなるか。

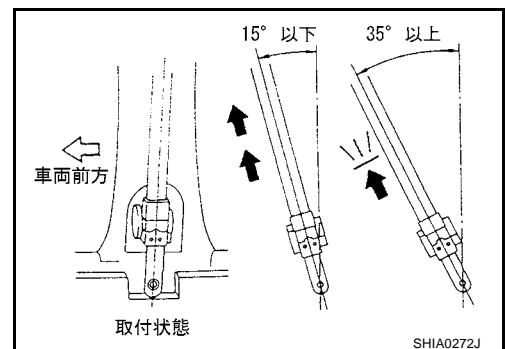
ELR 動的点検

警告： • 他の車や障害になるものがなく、安全な広い場所で以下のテストを行うこと。

- 舗装され、乾いている路面で行い、濡れている路面、舗装されていない路面や一般道路、高速道路などでは行わないこと。(事故や人身事故につながる恐れがある。)
 - 運転手と助手は、リトラクターがロックされなかった場合を想定し、その為の準備をする。
1. 運転席、助手席のシートベルトを締める。
 2. 時速約 16km で走行する。
 3. 未定の急停車を乗員に通知し、運転手と助手はリトラクターがロックしない場合を想定し、その為の準備をした上で、しっかりブレーキをかけ、急停止をする。
 4. 停車している間、リトラクターがロックされ、ベルトがそれ以上伸びないことを確認する。リトラクターがロックしていなければ、リトラクターの単品点検をする。

シートベルトリトラクターの単品点検

1. シートベルトリトラクターを取り外す。
2. 図に示されるように、リトラクターをねじらないで、取り付けられた位置からシートベルトリトラクターを傾け、ゆっくりとシートベルトを引き出す。
 - 15° 以下傾けた場合：ベルトは、引き出せる。
 - 35° 以上傾けた場合：ベルトは、引き出せない。



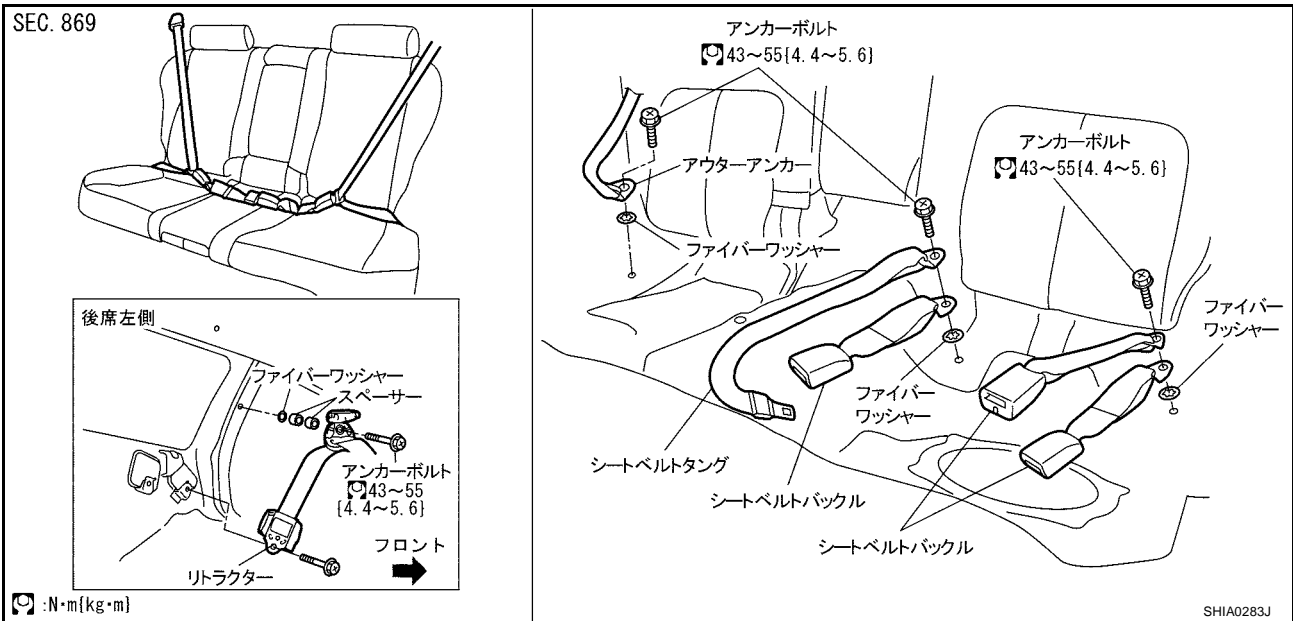
正常に作動しなければ、シートベルト ASSY を交換する。

リヤシートベルト

PF:88000

後席中央 2 点式シートベルト取り外し、取り付け

JHS000IV



取り外し

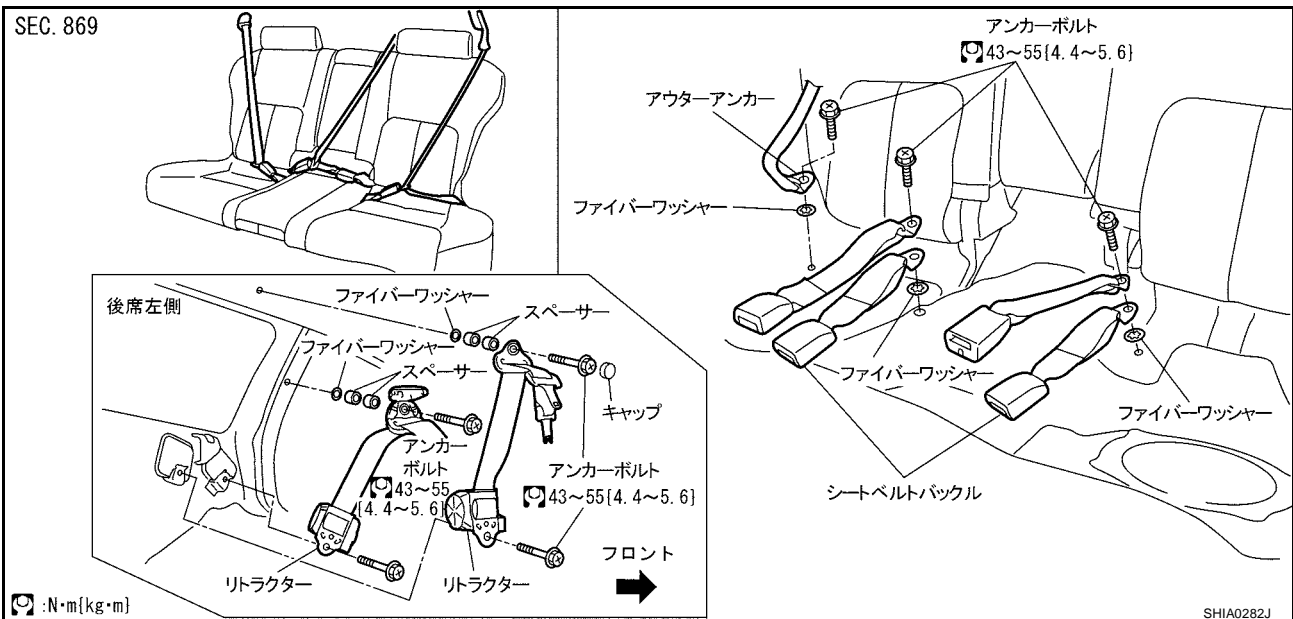
1. リアシートクッションを取り外す。「SE シート」の「[リヤシート](#)」(SE-18 ページ) を参照。
2. ラゲッジサイドロアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[ボディサイドトリム](#)」(EI-30 ページ) を参照。
3. フロアアンカーボルトを取り外す。
4. シートベルトリトラクターを取り付けているアンカーボルトを取り外し、シートベルト ASSY を取り外す。

取り付け

取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

後席中央 3 点式シートベルト取り外し、取り付け

JHS000IV



取り外し

1. リアシートクッションを取り外す。「SE シート」の「[リヤシート](#)」(SE-18 ページ) を参照。

リヤシートベルト

- ラゲッジサイドロアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[ボディーサイドトリム \(EI-30 ページ\)](#)」を参照。
- アウター及びフロアアンカーボルトを取り外す。
- シートベルトリトラクターを取り付けているアンカーボルトを取り外し、シートベルト ASSY を取り外す。

取り付け

取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

点検

JHS000IX

事故後の点検

衝突後は、リトラクター部、シートベルトアンカー部、フロアアンカー部及びアウターアンカー部について損傷、ゆがみ等がないか点検すること。日産は下記のような場合、重大な人身的危害をもたらす可能性があるため交換を進めている。

- 衝突した場合。
- シートベルト ASSY 車両取付部に損傷がある場合。
- 正常に作動しない場合。

シートベルトリトラクターの車載上点検

ELR 機構及び ALR 機構

- ELR は、急ブレーキなどの緊急時にリトラクターをロックさせ、ベルトがそれ以上引き出せないようする機構である。
- 後席3点式シートベルト（外側席）には、ALR（チャイルドシート固定機構）機構があり、チャイルドシートを取り付ける際に使用する。ALR 機構は、シートベルトを完全に引き出すと機能し、ベルトを少しずつ戻すと、特定の位置でロックして、ベルトがそれ以上引き出せないようになる。ベルトを全部巻き戻すと、ALR 機構は解除される。
- 点検には、静的点検と動的点検があり、リトラクターが正常に作動しているかは、以下の項目を行って判断する。

ELR 静的点検

ベルトを前方向にすばやく引くと、リトラクターがロックし、ベルトが引き出せなくなるか。

ELR 動的点検

警告：他の車や障害になるものがなく、安全な広い場所で以下のテストを行うこと。

- 舗装され、乾いている路面で行い、濡れている路面、舗装されていない路面や一般道路、高速道路などでは行わないこと。（事故や人身事故につながる恐れがある。）
 - 運転手と助手席乗員は、リトラクターがロックされなかった場合を想定し、そのための準備をする。
- 運転席、助手席のシートベルトを締める。
 - 時速約 16km で走行する。
 - 未定の急停車を乗員に通知し、運転手と助手はリトラクターがロックしない場合を想定し、そのための準備をした上で、しっかりブレーキをかけ、急停止をする。
 - 停車している間、リトラクターがロックされ、ベルトがそれ以上引き出せないことを確認する。リトラクターがロックしていなければ、リトラクターの単品点検をする。

ALR 静的点検

- シートベルトが「カチリ」と鳴るまでベルトをリトラクターから全て引き出す。
- ベルトを少しずつ戻したとき、「カチカチ」と作動音が聞こえるか。
- ベルトを引き出そうとしたとき、ベルトがロックされ、それ以上引き出せなくなるか。
- ベルトを全て戻したとき、ALR モードが解除されるか。

リヤシートベルト

シートベルトリトラクターの単品点検

1. シートベルトリトラクターを取り外す。
2. 図に示されるように、リトラクターをねじらないで、車載取付状態の位置からシートベルトリトラクターを傾け、ゆっくりとシートベルトを引き出す。
 - 15°以下傾けた場合：ベルトは、引き出せる。
 - 35°以上傾けた場合：ベルトは、引き出せない。

正常に作動しなければ、シートベルト ASSY を交換する。

